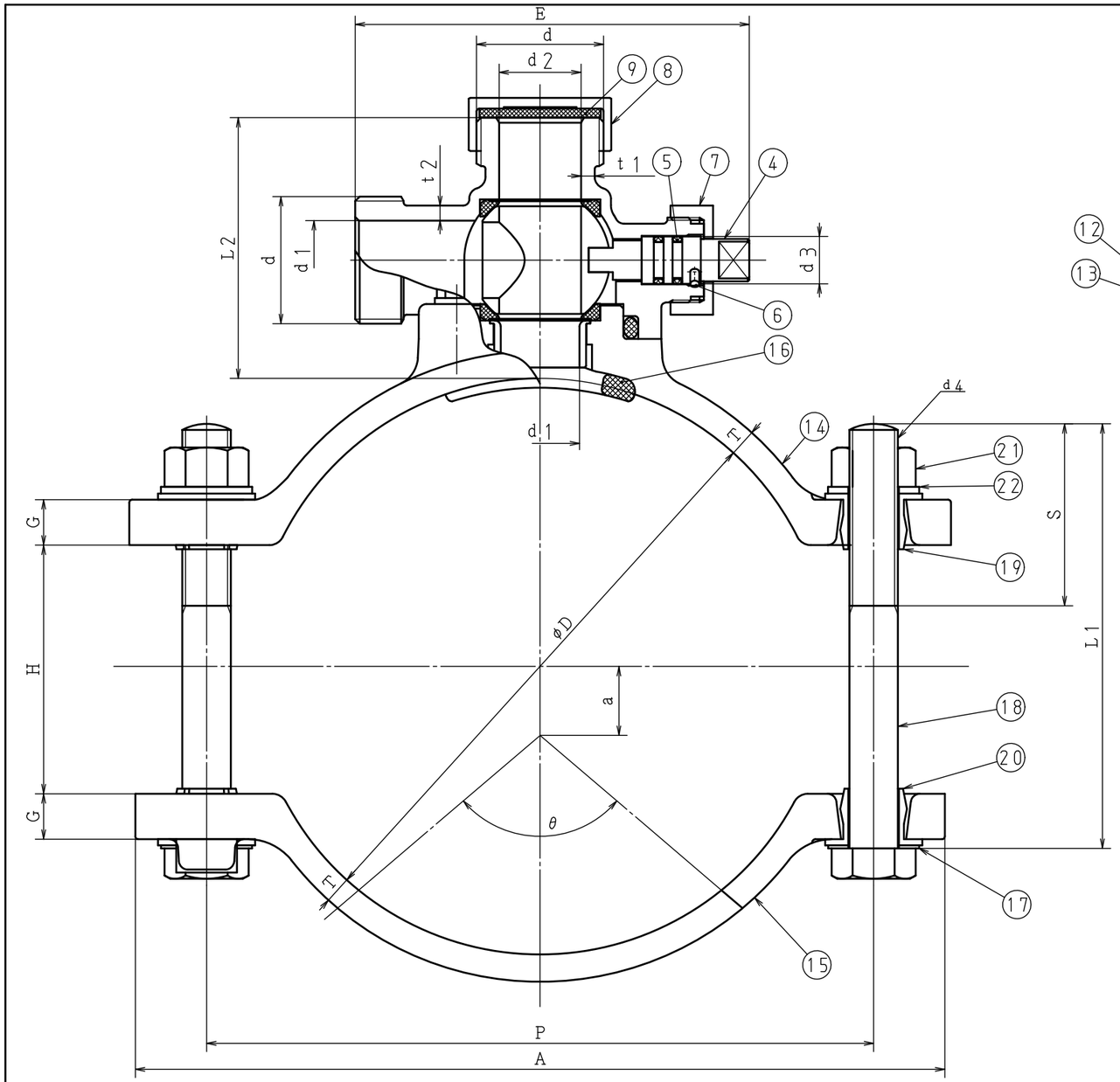

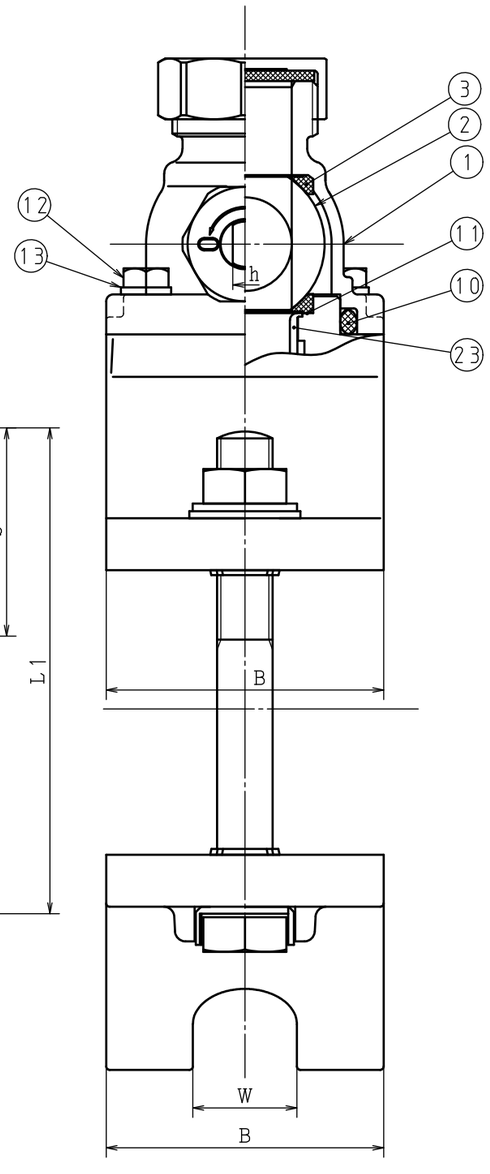

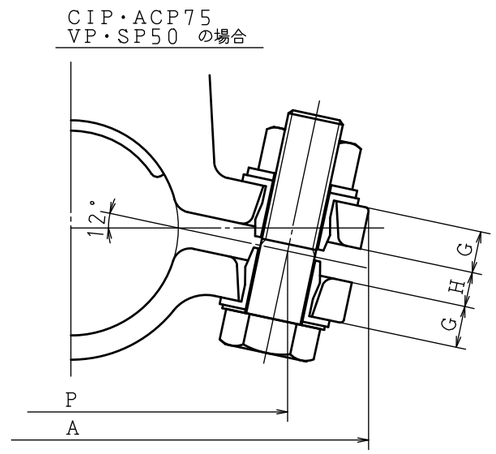

図面改正	
検査箇所	◇

サドル部寸法表

管種	管呼び	D	T	B	G	A	P	W	a	θ	H	L1	S	d4
CIP ACP	75	101	8.5	80	12	190	138	−	−	−	40	85	38	M16×2.0
	100	130	9.0	80	14	216	170	30	15	90°	40	85	38	M16×2.0
	150	190	9.0	80	15	262	216	30	↕	↕	80	120	60	M16×2.0
CIP	200	232	11.0	100	18	320	260	35	↕	↕	100	180	60	M20×2.5
	250	286	12.0	100	18	380	320	35	↕	↕	134	210	60	M20×2.5
	300	326	12.5	100	18	420	360	35	15	90°	134	210	60	M20×2.5
VP・SP	50	62	7.0	80	12	172	125	−	−		10	60	38	M16×2.0

分水部寸法表

呼び	d	d1	d2	d3	h	$L2^{+2}_{0}$	E	t1	t2
25	G1 1/4	26	27	16	7	86	130	4.5	3.0

許容差

1) Tは基準値とし、許容差は10mm以下は、$^{+規定せず}_{-1.5mm}$とし、11mm以上は$^{+規定せず}_{-2.0mm}$とする。
2) Bは基準値とし、許容差は$^{+規定せず}_{-2.0mm}$とする。
3) Gは基準値とし、許容差は$^{+2.0}_{-2.5mm}$とする。
4) dのねじはJIS B 0202（管用平行ねじ）B級とする。
5) t1・t2の許容差は、$^{+規定せず}_{-0.5mm}$とする。
6) 6角ボルトの寸法及び許容差は、JIS B 1180（6角ボルト）並とし、
6角ナットの寸法及び許容差は、、JIS B 1181（6角ナット）並とする。ねじの等級は、JIS B 0209（メートル並目ねじの許容限界寸法及び公差）3級とする。
平座金は、JIS B 1256（平座金）みがき丸による。
7) 指示の無い部分の寸法許容差は、鋳放し部分JIS B 0412
（鋳鋼品普通許容差）粗級，切削加工部分JIS B 0405（普通寸法差削り加工）粗級とする。

注記

1) 表のa、W及びθの寸法は、CIP・ACP75及びVP・SP50には適用しない。
2) サドル分水栓の表示は、別に定める表示基準による。
3) 分岐取出側d1寸法部には、自在継手接続のためC1.25の面取りを施す。

記号	品名	材質	数量	単重	標準図番号	備考
23	ブッシュ	C1220T	1			
22	平座金	SUS304	2			
21	六角ナット	SUS304	2			モリブデンコーティング
20	絶縁体（下）	PC	2			ポリカーボネイト
19	絶縁体（上）	PC	2			ポリカーボネイト
18	六角ボルト	SUS304	2			
17	保護ワッシャ	SUS304	2			
16	サドルパッキン	NBR	1			1A・70
15	バンド	FCD450	1			エポキシ樹脂粉体塗装
14	サドル	FCD450	1			エポキシ樹脂粉体塗装
13	バネ座金	SUS304	4			
12	六角ボルト	SUS304	4			
11	バックパッキン	NBR	1			1A・70
10	Oリング	NBR	1			1種A
9	キャップパッキン	NBR	1			1A・70
8	キャップ	CAC406	1			
7	スピンドル押え	CAC406	1			
6	止めピン	SUS304	1			
5	Oリング	NBR	2			1種A
4	スピンドル	CAC903C	1			
3	ボールシート	POM	2			アセタールコポリマー
2	ボール弁体	CAC903C	1			
1	ボールケース	CAC911	1			

承認	技術部 '06.10.2	検図	技術管理課 '06.10.2	25 JWWA B 117	製品記号	尺度
	重野		村山	サドル付分水栓 JWWA−KA（F）	30121	NONE
検図	技術管理課 '06.9.28	製図	阿部	組立図	図番	
	布山				k01−184，y30	
日付	'06.03.24	NIPPO	株式会社 日邦バルブ			